様式３(2020.08改)

作成日　令和4年1月30日

# 外部評価軽減要件確認票

| | |
|---|---|
| 事業所番号 | 2391400484 |
| 事業所名 | グループホーム　おおだかの憩 |

【重点項目への取組状況】

| | | 評価 |
|---|---|---|
| 重点項目① | 事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２） | |
| | コロナ禍の中での開設で、地域との交流がままならない状況が続き、具体的な事例はない。現在は地域での認知度を上げるためにも、近隣散歩等に出かけ、挨拶を交わす等の交流を行っている。 | ○ |
| 重点項目② | 運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３） | 評価 |
| | コロナ禍で対面での会議開催を自粛している。メンバーには、運営報告を兼ねた電話連絡を行い、内容を記録している。 | ○ |
| 重点項目③ | 市町村との連携（外部評価項目：４） | 評価 |
| | コロナ禍で、行政担当部署や地域包括支援センターとの連携・協働に関して、積極的には動けない状況が続いている。現在の具体例としては、地域包括支援センターに運営推進会議の代替えの報告書を持参し、ホームの理解を進めている。 | ○ |
| 重点項目④ | 運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６） | 評価 |
| | 開設から1年、コロナ禍でもあり、家族との関係作りも難しい状況が否めない。現在、政府の宣言下以外の期間は面会ができる環境を作り、ホームと家族が直接話せる機会としても活用している。意見や要望には真摯に対応している。 | ○ |
| 重点項目⑤ | その他軽減措置要件 | 評価 |
| | ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 | ○ |
| | ○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。 | ○ |
| | ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。 | ○ |
| 総合評価 | | ○ |

【備考欄】

コロナ禍で対面での会議開催を自粛している。運営報告を兼ねた電話連絡等で、メンバーと情報交換している。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

| 外部評価項目 | 確　認　事　項 |
|---|---|
| ２．事業所と地域のつきあい | （例示）<br>①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。<br>②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。 |
| ３．運営推進会議を活かした取り組み | （例示）<br>①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。<br>②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。 |
| ４．市町村との連携 | （例示）<br>①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。<br>②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。 |
| ６．運営に関する利用者、家族等意見の反映 | （例示）<br>①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。<br>②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。<br>③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。 |

【過去の軽減要件確認状況】

| 実施年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R元年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総合評価 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 実施年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | R11年度 | R12年度 |
| 総合評価 | － | ○ | | | | | | | | | |